

## (公社) 愛知県栄養士会 実践報告会 2024

日時： 令和7年1月25日(土) 13:30~16:30

場所： ウィンクあいち 1205・1206会議室

目的： 実践報告会では、自身の活動を実践報告として発表することにより、自分の経験を軌跡として残し、今後の栄養士・管理栄養士としてのさらなるステップアップに繋げる。また、他の職域の栄養士の活動を知ること、お互いの職務を理解し、横の繋がりを深める。

ラウンドテーブルディスカッションでは、個々の抱える課題などをグループで共有し、意見交換することで、新たな発見や課題解決に向けた手立てとする。

実践発表演題：アンコール口演 3題

一般講演 5題

ラウンドテーブルディスカッション：1題

### 【実践発表およびラウンドテーブルディスカッション】

アンコール口演は、以前発表された演題から評価の高かったものを、より多くの方に聴く機会を設けるため、主旨の説明を十分に行った上で実施した。(一部はオンラインでの発表) 質疑応答までスムーズに行うことができた。

一般講演は5題のうち4題が医療部会、1題が福祉部会からの発表であった。医療や福祉の分野で管理栄養士・栄養士が活躍している様子を知ることができた。

個人的に心に残ったのは、高齢者施設に入所している嚥下障害のある方々にスイーツカフェを開催したという実践である。食べるという行為は人の心身に大きな影響をもたらし、おいしいものを食べられる幸せは人の意欲向上に繋がる。企画から当日の実施まで、恐らく大変だったと思うが、アンケートの結果からも好評であったことがよくわかる。このような取組が広がっていくとよいと思う。

ラウンドテーブルディスカッションでは、資格を生かし、フリーランスで活躍されている方の発表を聞いた。管理栄養士・栄養士は女性が多いことから、ライフステージによっては仕事が続けられない場合もある。自分の持つキャリアを生かした新しい働き方の一例だった。栄養士としてのスキルを常に磨いておくことにより、ずっと働き続けることは可能であると感じた。



実践発表の様子

### 【今後に向けて】

今回の実践報告会は、3部会からの発表であった。発表という言葉を知ると、やや難しく考えてしまう中でも若手を中心に想定以上の発表者に参加していただけた。このような意欲のある若い方たちの存在はとても頼もしい。また、発表のなかった部会の方においても管理栄養士・栄養士として日々業務に専念している。その経験や、努力してきたことを軌跡として残すことは自分の頑張る力になり、それを聞くことにより同じ栄養士として働く人にも新たな道を拓くことができると考える。

次年度もまたより多くの実践報告や聴講者があることを期待する。

(報告者 生涯教育委員 谷口郷子)